

**商学部における特色ある学部教育の補助**  
**「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書**

テーマ	退職代行モームリが教えるブラック企業の見分け方				
科目名	企業法務（労働法）				
担当教員	松井良和				
実施日	2025年7月10日(木)	時限	3	時限目 実施教室	8101 教室

**実施趣旨（目的）**

近年、退職代行サービスが注目を集めている。退職代行サービスの利用が増えている要因の1つには、若者の離職率が高くなっているという問題だけではなく、日本的雇用慣行の1つである終身雇用が揺らいでいることを示した現象であると考えられる。つまり、労働者自身、定年まで1つの会社に勤め続けるという考え方が変化してきていることを表していると思われる。終身雇用制の揺らぎは、伝統的な労働法理論の1つである解雇権濫用法理の変容をもたらすことが推測される。そこで、退職代行サービス最大手ある「モームリ」を運営する株式会社アルバトロス代表の谷本氏から話を聞き、退職代行サービスの実態を聞くことにした。

**実施結果**

退職代行サービス利用者約3万5000人の事例から、退職代行サービス利用者の傾向等について谷本氏から講演をいただいた。退職代行サービスの利用者として、ブラック企業に遭遇したというより、「自分が思っていた仕事や条件とは違った」と考えて利用する者が多いことが分かった（利用者の6割に上る）。また、退職代行サービスが社会的に注目された理由として、SNSやyoutubeの活用があっただけでなく、就職支援以外に若者が労働相談できる場所がない事実も明らかになった。実際に、退職代行サービスの利用者の中には、「この日に有給を使いたいと考えているが、会社に言いにくいので、代わりに伝えて欲しい」という、退職代行以外の相談も少なくないという。労働相談に関しては、労働基準監督署や弁護士など若者にとってはハードルが高く、相談しにくいという事実があることが改めて明らかになった。退職代行サービスの利用については現在、賛否あるところで、特に企業側からすると否定的な意見も少なくないが、学生の側からするとポジティブな見方をしている者が少なくないことが分かった。谷本氏の講演の中では他に、ブラック企業の見分け方（会社HPの見方など）や企業を目指す学生へのメッセージも含まれており、講演に対して好意的、ポジティブな感想が多く見られた。履修者のうち100人以上が講演に参加し、普段、聞くことができない貴重な話を聞くことができ、学生にとっても意味のある講演を実施することができた。